地域おこし協力隊が行く！

2022.9
Vol.64

隊員インタビュー

「火のアートフェスティバル2022」を準備する平島佳奈子隊員に聞きました

平島 佳奈子隊員
（文化芸術振興支援）
10月の「火のアートフェスティバル2022」に向け奔走中！

小林 火のアートフェスティバル2022（以下、「火のアート」）、いよいよ来月ですね！

平島 はい、10月8日・9日の土日のイベント当日まで、あと1カ月に迫ってきました。ドキドキです。

小林 今年の「火のアート」は、どんなテーマを掲げていますか？

平島 今年のテーマは**「祭生（さいせい）～火と水と土と～」**です。

小林 「祭生」で「さいせい」…どんな意味ですか？

平島 「祭生」の2文字には、**初心にかえってイベントを見つめ直す**という思いを込めています。**ワークショップの内容も、このテーマを意識して準備しています。**

小林 なるほど。今年の目玉は何ですか？

平島 何といっても今年は「火のアート」の記念すべき**30周年**なんです。

小林 30周年！

平島 イベントの骨格である**「登り窯」での陶芸作品の焼き上げが30年間続いてきたことになります。**陶芸グループ「べと」の皆さんがこの技術を継承してくださっています。三日三晩火を絶やさないように、火の様子を見ながら交代で薪をくべ続けるので、大変な作業です。10月8日から9日の明け方まで、**薪をくべるボランティアも募集**しています（お問い合わせ 文化係 ☎71－0670）。

小林 「登り窯焼成」は僕も去年初めて見ましたが、ものすごい迫力でした。

登り窯焼成の下準備として灯油窯で素焼きをする

平島 今年は**「30周年記念イベント」**も企画しています。**9日の朝は芸術むら公園に熱気球が飛びます。**空中から見る明神池や信州の山々の景色は格別なものになると思います。**8日の夜は市内の花火屋さんによる、打ち上げ花火も企画中です。**

小林 熱気球に打ち上げ花火ですか！ 今からワクワクしてきました。

平島 また、去年も好評だった**音楽ステージ**を今年も開催します。絶え間なく、入れ替わりで様々なアーティストが登場します。

小林 ワークショップはどんなものがありますか？

平島 現在、「陶器の絵付け」「ガラス細工体験」「木の楽器制作」「竹細工制作」「ヨガ教室」の5つを予定しています。今年は**「体験型」**のワークショップを意識していて、実際に作品を作ったり、身体を動かしたりする内容になっています。

小林 出店はどんなものがありますか？

平島 クラフト・カルチャー！グリーン部門で約50、フードが約20の、**合計約70の出店を予定**しています。陶器、木工、クラフト作品や、お花屋さんによるグリーン、地元の農産物などがそろっています。残念ながら会場内での飲食は今年もご遠慮いただきますが、テイクアウトで信州の味を満喫してもらえればと思います。

小林 今から楽しみです！最後に思いのほどを一言お願いします。

平島 ここまで地域の方々のあたたかさに支えられて、準備を進められています。地元の方に楽しんでいただける、非日常を味わい体験できる「火のアートフェスティバル」を目指していますので、ぜひリフレッシュにいらしてください！

火のアートフェスティバル2022

10月8日（土） 午前10時～午後8時
10月9日（日） 午前 9時～午後2時
場所…芸術むら公園内

※イベントの内容は変更する場合があります。最新情報は市ホームページなどでご確認ください。

編集担当・地域おこし協力隊　小林